

石垣市転出者アンケート調査報告書

令和8年5月
石垣市

目次

1. 調査の目的と概要

- (1) 調査の目的
- (2) 調査項目
- (3) 調査対象
- (4) 実施方法
- (5) 調査期間
- (6) 回答数

2. 調査結果

(1) 回答者属性

- ① 性別
- ② 年齢
- ③ 石垣市での職業
- ④ 石垣市での家族構成
- ⑤ 石垣市での居住形態
- ⑥ 石垣市での居住期間
- ⑦ 転出先

(2) 石垣市への転入状況

- ① 石垣市へ転入したきっかけ
- ② 石垣市を選んだ理由

(3) 転出に関する状況

- ① 石垣市から転出するきっかけ

(4) 将来的な居留意向

- ① 条件の良い仕事があれば石垣市での就職を希望するか
- ② 大学等の高等教育機関があれば進学を希望するか
- ③ また石垣市に住みたいと思うか
- ④ 移住者へ望ましい支援
- ⑤ 今後の居留意向

(5) 石垣市に対する課題・改善要望

(6) 自由記述

- ① 子育て・教育
- ② 仕事・雇用・経済
- ③ 住居・生活環境
- ④ 医療・福祉
- ⑤ 観光・オーバーツーリズム
- ⑥ 交通・インフラ
- ⑦ 地域性・人間関係・文化
- ⑧ 自然・景観・まちづくり
- ⑨ 石垣市への愛着・再訪意向

3. 総括

1. 調査の目的と概要

(1) 調査の目的

本調査は、石垣市から転出する方を対象として、転出理由や生活上の課題、将来的なUターン意向等を把握し、今後の移住・定住施策及び住み続けられるまちづくり施策の検討に活用することを目的として実施した。

(2) 調査項目

- ① 回答者の属性（性別・年齢・職業・家族構成・住居形態・居住期間・転出先）
- ② 石垣市への転入状況
- ③ 転出に関する状況
- ④ 将来的な居住意向
- ⑤ 石垣市に対する課題・改善要望

(3) 調査対象

石垣市へ転出届を提出した者

(4) 実施方法

- ・市民課窓口アンケート用紙、回収箱を設置
- ・オンラインによる回答受付

(5) 調査期間

令和7年3月3日～令和8年3月31日

(6) 回答数

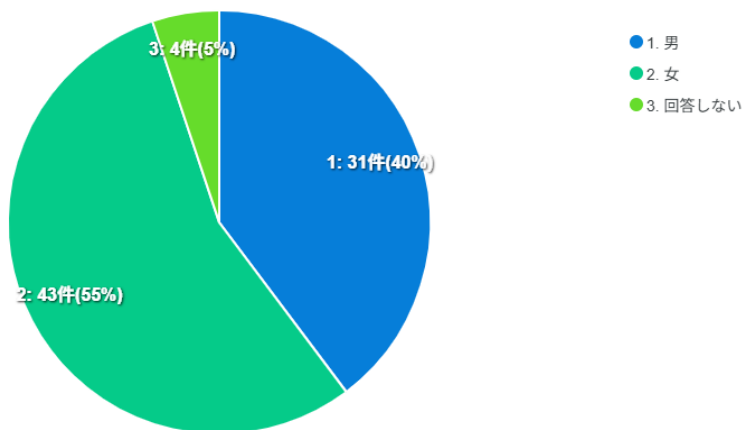
有効回答数：78件

2. 調査結果

(1) 回答者属性

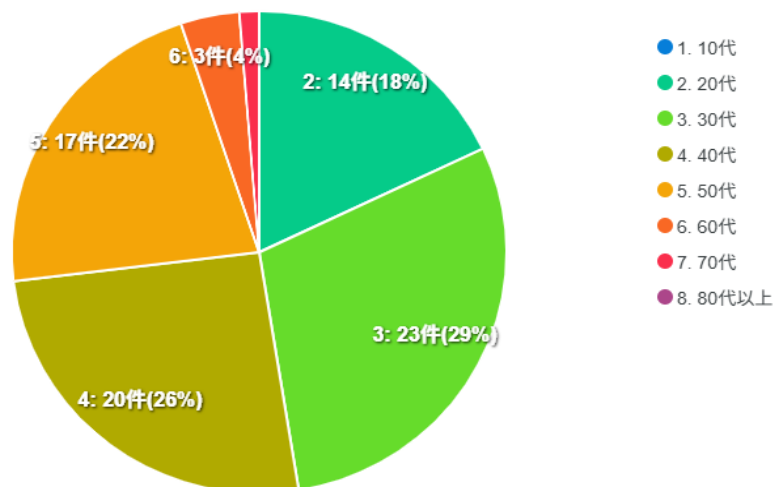
①性別

回答者の性別は「女」が最も多く 55.1%であった。次いで「男」が 40.2%、「回答しない」が 5%となっている。



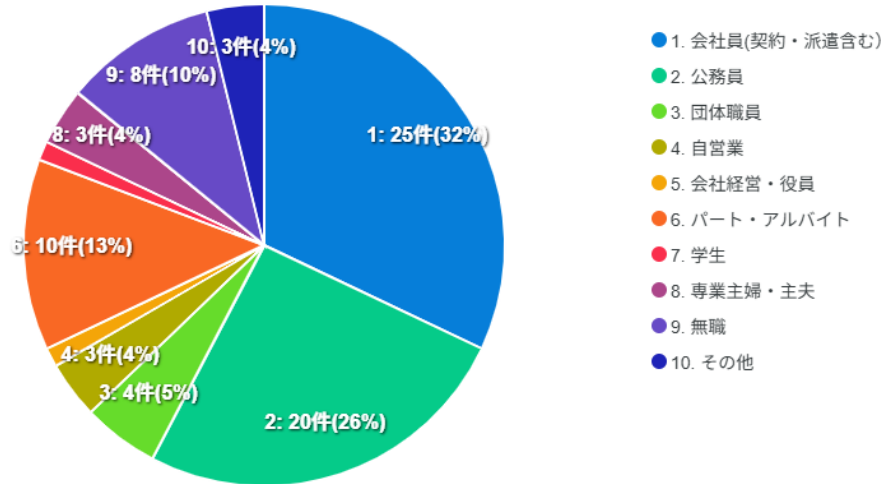
②年齢

年代別では「30代」が 29%と最多であり、僅差で「40代 (26%)」「50代 (22%)」と続いている。20代 (18%) も含めると、20代～50代の現役世代が全体の 9 割以上を占める結果となった。



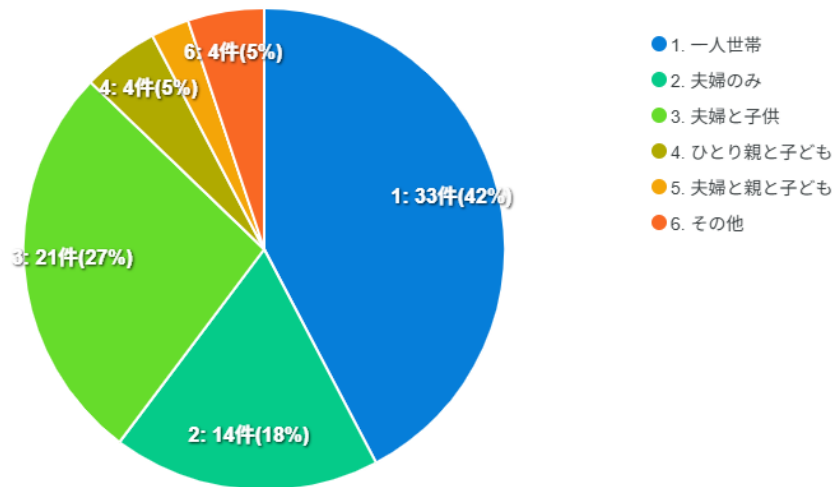
③石垣市での職業

職業については、「会社員」が32%で最多であった。次いで「公務員」が26%、「パート・アルバイト」が13%となっている。



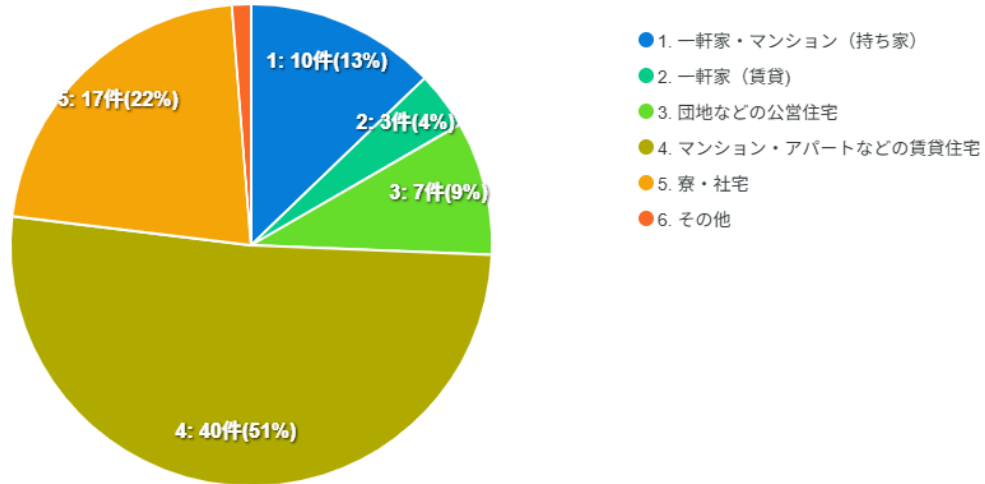
④石垣市での家族構成

家族構成については、「一人世帯」が42%で最多であった。次いで「夫婦と子供」が27%、「夫婦のみ」が18%となり、単身での居住者が4割強を占めていたことが伺える。



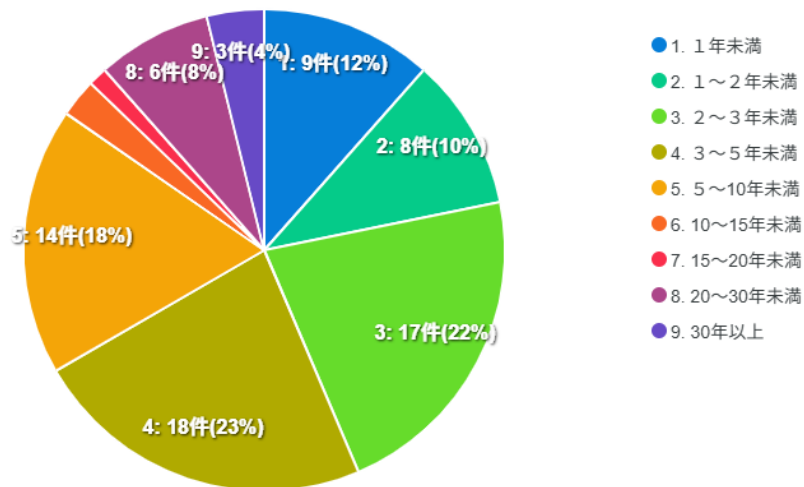
⑤石垣市での居住形態

住居の形態は、「マンション・アパートなどの賃貸住宅」が51%と過半数に達した。次いで「寮・社宅」が22%、「一軒家・マンション（持ち家）」が13%となっている。



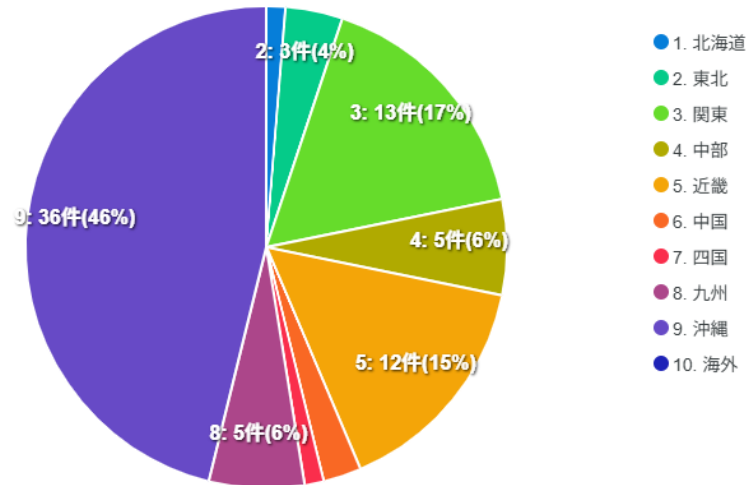
⑥石垣市での居住期間

居住期間は割合が分かれたが、「3～5年未満」が23%、「2～3年未満」が22%、「5～10年未満」が18%となった。全体として1年以上10年未満の中短期居住者が多くを占めている。



⑦転出先

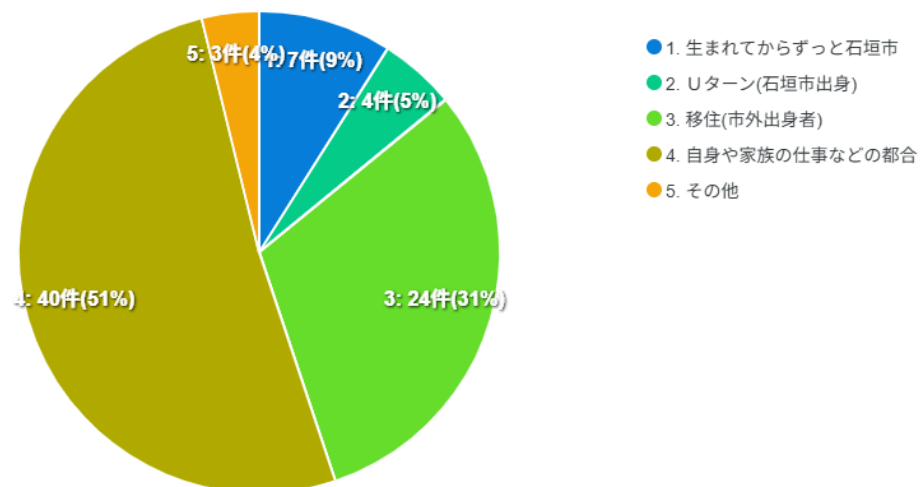
転出先の地域としては、「沖縄（県内他市町村など）」が46%と半数近くを占め最も多かった。次いで「関東」が17%、「近畿」が15%と、都市圏への転出も目立っている。



(2) 石垣市への転入状況

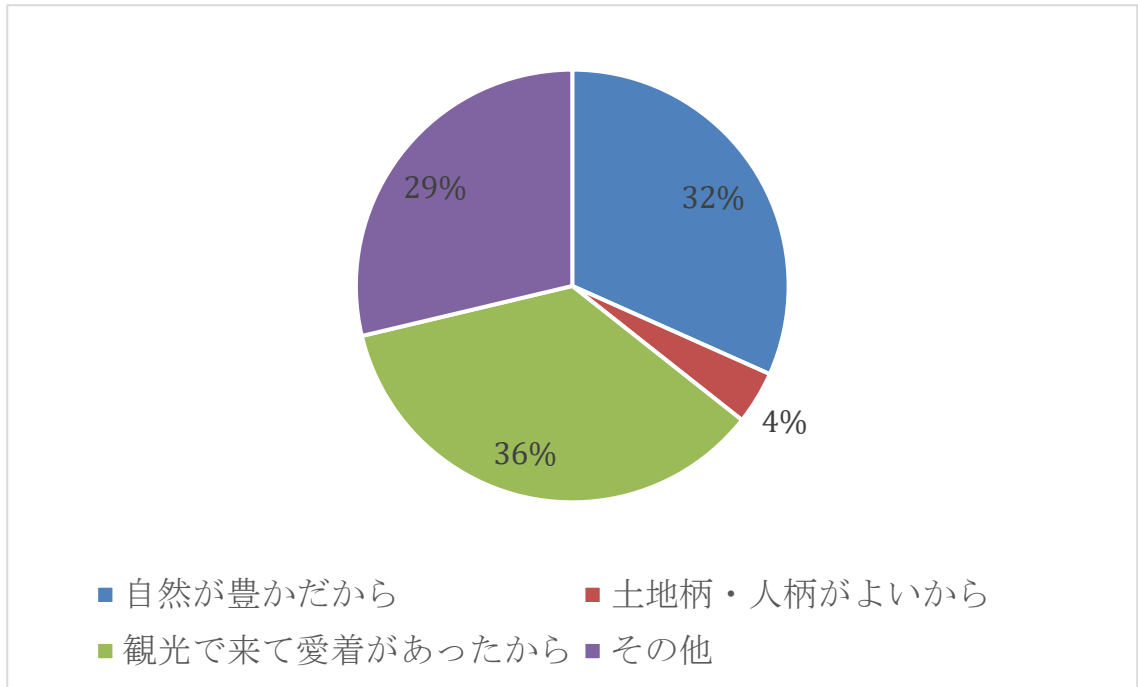
①石垣市へ転入したきっかけ

転入のきっかけは、「自身や家族の仕事などの都合」が51%と半数を占めて最も多かった。次いで「移住（市外出身者）」が31%、「Uターン（石垣市出身）」が9%となっている。



②石垣市を選んだ理由（※転入理由で「移住」と答えた方への設問）

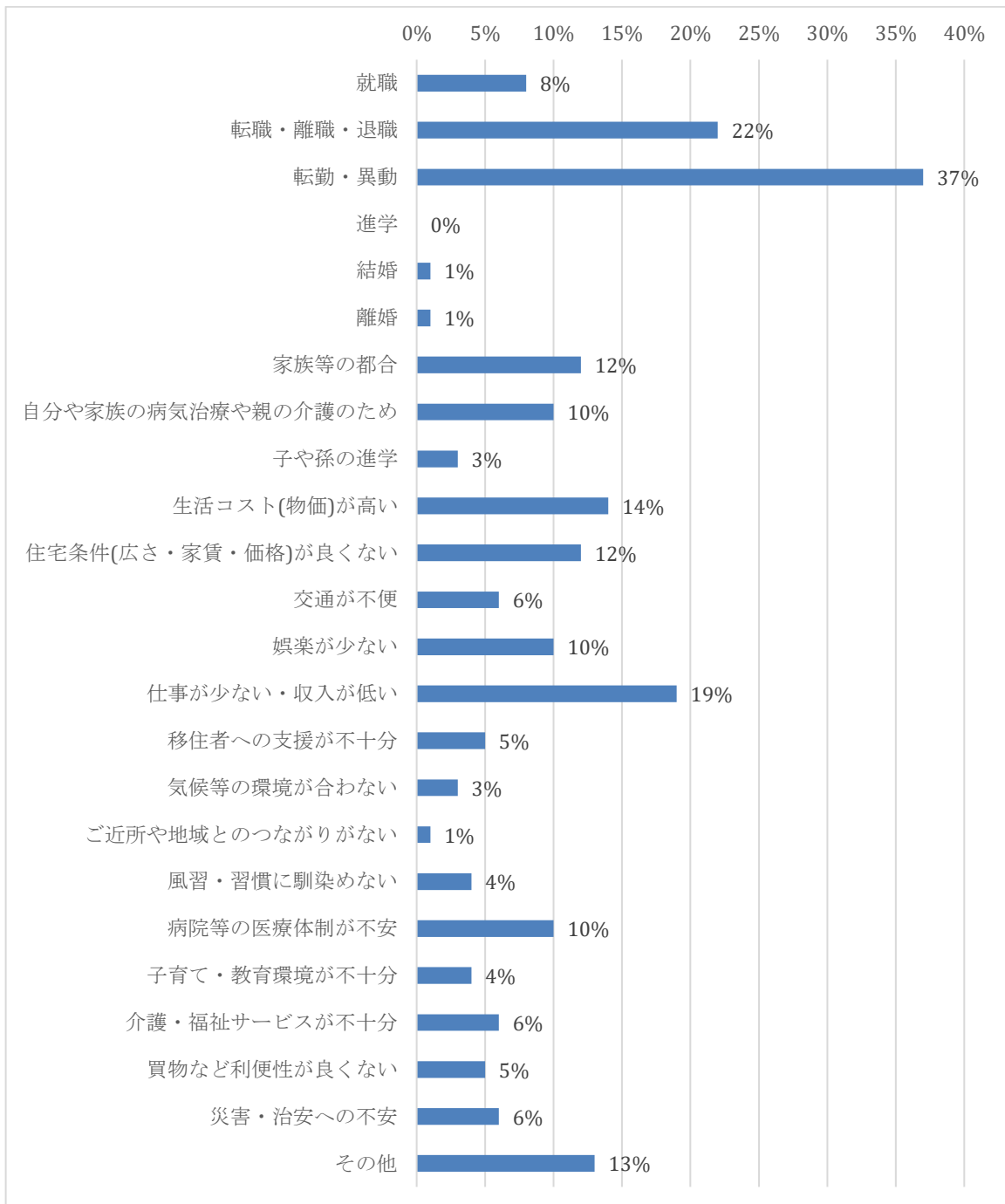
移住理由としては、「観光で来て愛着があったから（32%）」や「自然が豊かだから（32%）」などが挙げられた。



(3) 転出に関する状況

①石垣市から転出するきっかけ（複数選択可）

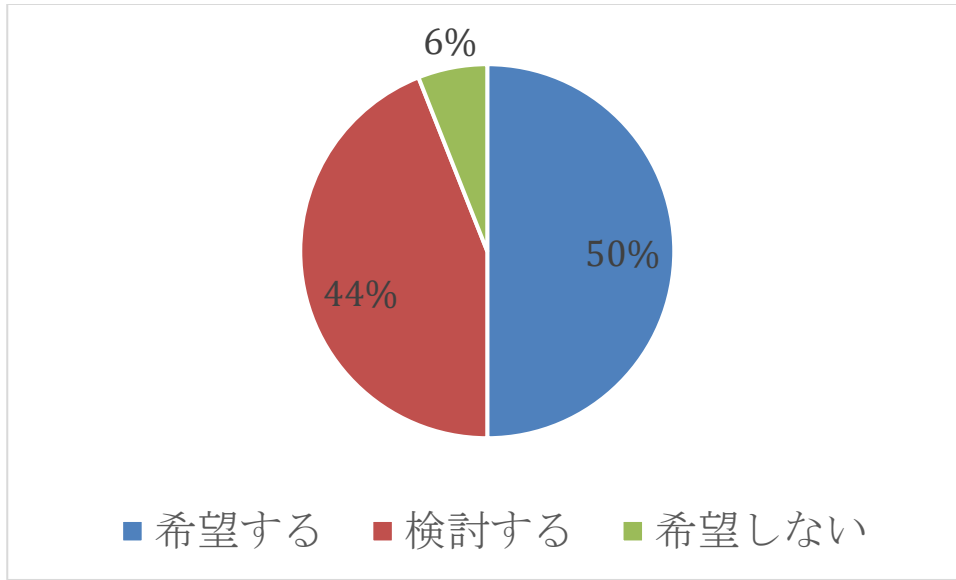
転出の主たる原因としては、「転勤・異動」が37%と最も多く、次いで「転職・離職・退職」が22%、「仕事が少ない」が19%となった。また、生活面では「生活コスト（物価高）」が14%、仕事の都合だけでなく経済的な理由も転出に影響していることが伺える。



(4) 将来的な居住意向

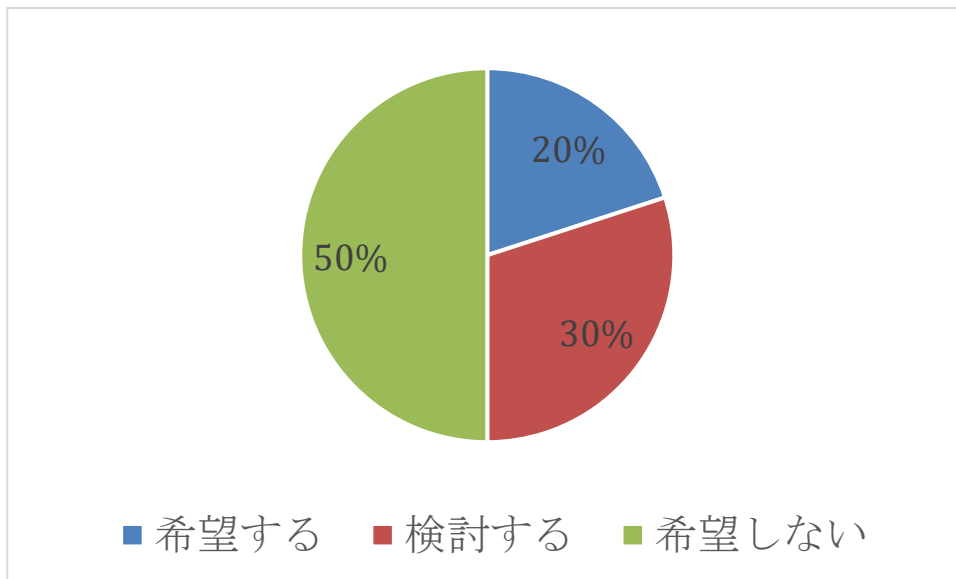
①条件の良い仕事があれば石垣市での就職を希望するか（※転出理由で「就職」、「進学」と回答した方への設問）

条件次第での就職について、「希望する」が50%、「検討する」が44%となった。



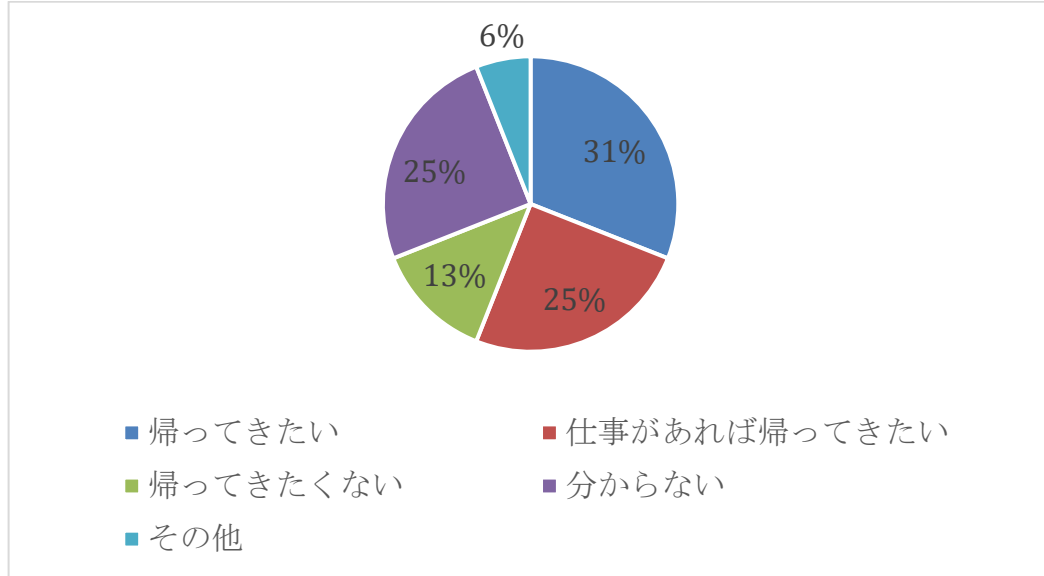
②大学等の高等教育機関があれば進学を希望するか（※転出理由で「就職」、「進学」と回答した方への設問）

進学の希望については、「希望しない」が50%、「検討する」が30%、希望するが20%となった。



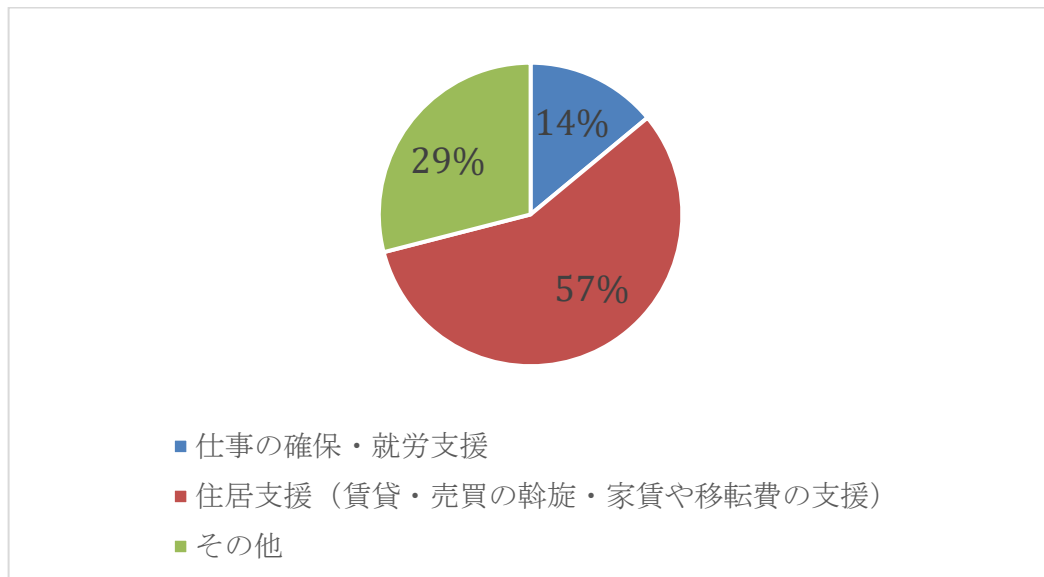
③また石垣市に住みたいと思うか（※転出理由で「就職」、「進学」と回答した方への設問）

将来的な居住意向については、「帰ってきたい（31%）」「仕事があれば帰ってきたい（25%）」を合わせると約5割以上がUターンに肯定的な姿勢を示した。



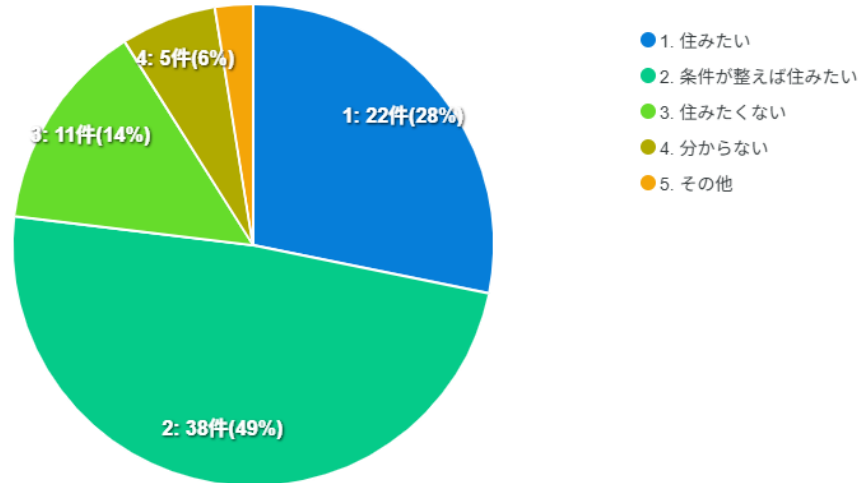
④市から移住者へどのような支援が望ましいと考えるか。（※転出理由で「移住支援が不十分」と回答した方への設問）

望まれる支援内容として、「住居支援（賃貸・売買の斡旋・家賃等支援）」が57%で最も多く、次いで「その他」が29%、「仕事の確保・就労支援」が14%となった。住まいに関わるサポートへのニーズが特に高いことが浮き彫りとなっている。



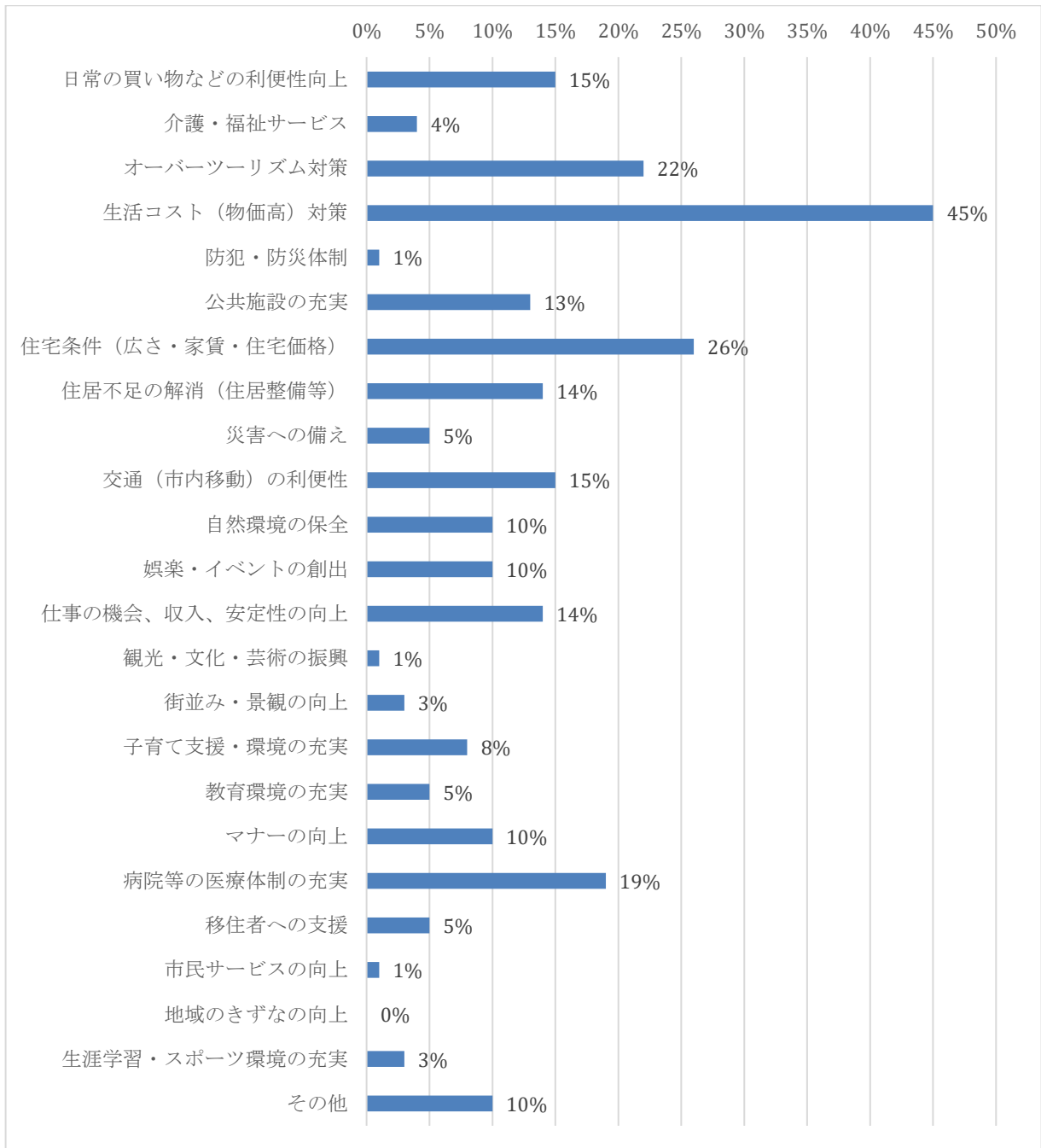
⑤また石垣市に住みたいと思いますか

今後の居留意向については、「住みたい」と「条件が整えば住みたい」が77%に上り、転出者の大半が石垣市への再居住に前向きな意向を持っていることが分かった。一方で、「住みたくない」は14%であった。



(5) 石垣市に対する課題・改善要望

改善が必要なこととして「生活コスト（物価高）」が45%で最も多く、「病院等の医療体制の充実」が19%、「仕事の機会、収入、安定性の向上」が14%となった。また、「住宅条件」、「住居不足の解消」を合わせて40%の人が挙げており、生活費や医療といったインフラ面に次ぐ重要課題となっている。日々の生活コストの高さや医療への不安に加え、島内での「住まい」の確保に対する困りごとやニーズが明確に浮き彫りとなる結果となった。



(6) 自由記述で寄せられた石垣市での暮らしに関する主な意見

①子育て・教育

- ・医療体制が不安であり、子育てや将来的な生活に不安を感じる
- ・学力水準への懸念
- ・子どもが遊べる施設が少ない
- ・「子ども施策」に偏り過ぎている
- ・虐待や家庭問題への行政・福祉の支援不足に対する強い不満
- ・子どもや若者の未来のためにまちづくりを頑張ってもらいたい

②仕事・雇用・経済

- ・賃金水準が低い一方で、物価や生活コストが高い
- ・若者や移住者、Uターン者は一定数おり活気がある
- ・島の経済基盤や将来への不安
- ・観光依存による市民生活への影響

③住居・生活環境

- ・家賃が高く、住宅確保が困難
- ・市営住宅整備を求める
- ・ゴミ問題やカラス被害への不満
- ・ゴミ出しルールが複雑
- ・街灯不足や道路環境に関する改善要望

④医療・福祉

- ・医療体制への不安が非常に多い
- ・福祉支援体制への不安

⑤観光・オーバーツーリズム

- ・クルーズ船寄港時の混雑・交通問題

- ・外国人観光客のマナー問題
- ・ゴミ問題
- ・観光客増加による生活環境悪化
- ・観光施策と市民生活のバランスに関する意見
- ・観光分散化不足

⑥交通・インフラ

- ・バスの混雑や本数不足
- ・道路整備不足
- ・標識・白線の視認性低下
- ・夜間の安全性不足

⑦地域性・人間関係・文化

- ・地域文化や伝統交流への高評価
- ・住民マナーや人間関係への厳しい意見
- ・男女役割意識への不満

⑧自然・景観・まちづくり

- ・自然環境や景観への高評価
- ・過度な開発への懸念
- ・高層マンション・リゾート開発への不安
- ・「石垣らしさ」を残してほしい

⑨石垣市への愛着・再訪意向

- ・大変住みよい場所でした
- ・石垣市での生活はとても楽しかった
- ・異動で転出するのがもったいない
- ・とても好きな場所でした必ず帰ってきたい

4. 総括

本調査では、石垣市から転出する方を対象に、転出理由や石垣市での暮らしにおける課題、将来的な居住意向等について把握を行った。

調査結果からは、転出理由として「転勤・異動」や「転職・離職・退職」など、仕事に関する要因が最も多く挙げられたほか、「生活コスト（物価高）」や「仕事の機会・収入・安定性の向上」など、経済的な要因も転出に大きく影響していることが確認された。

また、改善が必要な事項として、「生活コスト（物価高）」に加え、「病院等の医療体制」や「住宅条件・住居不足」など、生活基盤に関する課題が多く挙げられた。特に、住宅確保や家賃負担、医療体制に関する不安については、自由記述においても多くの意見が寄せられており、市民生活に直結する重要な課題であることがうかがえる。

さらに、自由記述では、オーバーツーリズムによる生活環境への影響やごみ問題、道路整備や公共交通に関する意見も多く見られた。一方で、「自然環境の豊かさ」や「地域文化」、「人とのつながり」など、石垣市ならではの魅力を評価する声も多数寄せられている。加えて、「また住みたい」、「条件が整えば住みたい」と回答した割合は高く、転出後も石垣市への愛着や再居住意向を持つ方が多いことが確認された。

今後は、雇用環境の充実や所得向上に向けた取組に加え、住宅支援、医療体制の充実、交通・道路環境の改善など、市民生活の基盤強化を総合的に進めていくことが重要である。また、自然環境や地域文化など石垣市の魅力を守りながら、観光と市民生活の調和を図る持続可能なまちづくりを推進していくことが求められる。

本調査結果については、今後の移住・定住施策及び住み続けられるまちづくり施策の検討に活用していく。